令和８年度　第２回高根沢町総合教育会議 会議録

<table>
<tr><td>会議の日時</td><td>令和８年９月 16 日（水）
開会　午後２時 00 分
閉会　午後３時 30 分</td><td>場　　所</td><td>高根沢町教育委員会事務局
（仮庁舎）会議室</td></tr>
<tr><td>出席者の
氏　　名</td><td>神林　秀治（町長）
中野　謙作
齋藤　君世
佐藤　豪男
岡本　多香子
坂本　美知夫（教育長）</td><td rowspan="2">説明員及び
書記氏名</td><td rowspan="2">（学校教育課）
課　　長　福田　和則
給食センター所長　齋藤　理
課長補佐　小林　賢治
課長補佐兼管理主事
兼指導主事　今平　紀章
係長兼指導主事　村上　浩史
係長兼指導主事　末廣亜希子
主任主事（書記）　細谷　光司
（こどもみらい課）
課　　長　齋藤　雅人
課長補佐　岩本　紀男
（生涯学習課）
課　　長　岡田　忠雄
課長補佐　赤羽　康弘
係長兼社会教育主事
兼指導主事　野尻　友香</td></tr>
<tr><td>欠席者の
氏　　名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">会　　議　　次　　第</td></tr>
<tr><td colspan="4">１　開　会
２　町長あいさつ
３　議　題
（１）　高根沢町教育行政の重点事業等について
①　地域経営計画 2026 の施策・成果指標
②　次年度取り組む重点事業
（２）小学校統合準備の進捗状況について
（３）その他
４　閉　会</td></tr>
</table>

議　事　の　経　過

学校教育課長	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１条の４に基づき、総合教育会議を開催します。 はじめに、町長よりご挨拶をお願いいたします。
町長 （挨拶）	昨日の議会最終日では、各中学校体育館の空調設備工事の契約に関する議決をいただきましたので、今後整備を進めていくこととなります。 本日の議題である教育行政の重点事業につきましては、今年度から５年間の計画期間がスタートした「地域経営計画 2026」に基づいて事業を進めていくに当たり、委員の皆様のご意見をお願いいたします。 また、小学校の統合につきましても、説明会等の中で保護者等から様々なご意見をいただいておりますので、今後の進め方について委員の皆様のご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします
教育長	議事録署名人に岡本委員、書記に学校教育課細谷主任主事を指名します。 はじめに、議題（１）高根沢町教育行政の重点事業等について、事務局から説明します。
学校教育課長	【説明要旨】 「地域経営計画 2026 の施策・成果指標」について、「次年度取り組む重点事業」として「令和 10 年度の学校統合を見据えた『英語教育新体制検討』」、「小中学生チャレンジ応援・補助事業（キャリア教育)」、「『運動遊びメソッド』全校展開プロジェクト」について説明
生涯学習課長	【説明要旨】 「地域経営計画 2026 の施策・成果指標」について、「次年度取り組む重点事業」として「部活動地域展開等推進事業」、「公共施設予約システム改修事業」、「図書館指定管理委託事業」、「図書館施設修繕・改修事業（上高根沢地区コミュニティセンター改修事業)」、「仁井田体育館改修事業（スカッシュコート側外壁改修事業))」、「各施設等 LED 改修事業」について説明
こどもみらい課長	【説明要旨】 「地域経営計画 2026 の施策・成果指標」について、「次年度取り組む重点事業」として「学童保育所整備事業」、「のびのび保育園改修事業」、「保育園における待機児童０を目指すための保育士人材確保施策」、「不妊治療費助成の支援拡大」について説明
教育長	事務局からの説明が終わりました。それぞれの所管課ごとにご意見をいただければと思います。はじめに学校教育課について、ご意見等あればお願いします。

議　事　の　経　過

佐藤委員	「運動遊びメソッド全校展開プロジェクト」についてですが、昼休みだけでなく、少し長い休み時間：「中休み」についても活用していく考えはありますでしょうか。 また、実施に当たっては、安全の確保も大事ですし、食育や食べ物との関連も大事だと思います。
教育長	基本的には、各学校の「中休み」については、学校長が子ども達の実態に応じて設定していくものですので、教育委員会からは「推奨」していく形にはなると思います。ただし、「中休み」は、子ども達が校庭に出る時間という位置付けではないので、現実的には難しいと思います。
学校教育課長	食育については、引き続き給食を通じた食育の充実を推進していくとともに、今年度は、生産者と一緒に給食を食べる取組として「生産者とのふれあい給食」を再開します。
中野委員	英語教育の充実については、ただ「楽しい」と感じるだけでなく、英語に苦手意識を持つ子ども達の学力の向上につなげていくことを目指してほしいと思いました。また、英語教員のプロジェクトチームで様々な方策を考えていただいたり、例えば、ＡＬＴの授業は非常に楽しいので、家からもオンラインで見ることができる取組であったりとか、少しでも意識を変えていく取組をお願いしたいと思います。
学校教育課長	英語に対する抵抗感や苦手意識を小学生の時点から解消していくため、ＡＬＴ等の指導体制の最適化を図り、ご指摘のような子ども達の学力の向上につなげていけるよう取り組んでいく考えです。
末廣指導主事	今年度すでに小学校ではイングリッシュデー設定し、ＡＬＴをたくさん送り込んで英語漬けの時間を過ごす取組を行っており、すべての学校に広げていく予定です。 また、子ども達が全く知らないＡＬＴをオンラインでつないで、「初めて触れ合う外国の方との英会話」に挑戦する取組なども計画しています。
岡本委員	来年度以降フィジーへの中学生海外派遣事業が無くなりますが、本来の国際交流だけでなく英語力の向上を目指して参加していた生徒もいると思うので、その代わりになるイングリッシュキャンプなどの事業を検討いただけるといいのではないでしょうか。
学校教育課長	先ほどご紹介したイングリッシュデーなどの事業を広げていくほか、今後検討してまいります。
教育長	イングリッシュキャンプについては、例えば、先ほどお示しした語学研修に対する補助メニューの検討において考えていきたいと思います。
中野委員	補助メニューの補助率や金額は？

議　事　の　経　過

学校教育課長	令和 10 年度に向けて、学校教育基本計画の柱の１つである「キャリア教育の充実」の観点から、それぞれ子ども達の好きな分野や資格に挑戦していけるよう、事業を組み立てていきたいと考えております。
教育長	ここまでの内容に対して町長からご意見等お願いいたします。
町長	特に英語力の向上に取り組んでいくこと、これまで不足していた部分を補完していく取組を検討していることについてよく理解ができました。近い将来に、新たな成果が見えてくることを期待しています。
教育長	ありがとうございました。続いて、生涯学習課の所管部分についてご意見等お願いいたします。
佐藤委員	生涯スポーツの推進についてですが、体づくりに関わる食育の事業や、低年齢のうちにスポーツの練習をやり過ぎることによる身体の故障についてはどのようにお考えでしょうか。
生涯学習課長	生涯スポーツについては、生涯にわたって日常的に様々なスポーツを楽しめる環境を作っていくところに視点を置いて、教室、講座、イベントなどを実施し、「体力づくり」をしていくというのが主たる事業です。ご指摘のような食と絡めた体づくりや、体の健康・安全・メンテナンスというのは、これまで取り入れていなかった要素かもしれませんので、スポーツの推進を図る中でどのように組み立てていけるか、１つのアイデアとして参考にさせていただきたいと感じました。
岡本委員	部活動の地域展開についてです。部活動を地域に移行していくほか、他市町との広域的な活動については、どのように考えたらよろしいですか。
生涯学習課長	まずは部活動を町内における地域クラブへ展開をかけようというのがスタートですが、その先の展開として、人数の事情などにより、広域的に捉えていくことも想定はしているところです。
中野委員	地域の団体や広域の団体との取り決めはあるのでしょうか。また、地域展開した場合、クラブの中でトラブルがあったときの責任の所在は、学校や教育委員会には無いということでよろしいでしょうか。
生涯学習課長	具体的には「運営の母体」と、「実施の母体」の２つがありますので、地域展開に当たっては、教育委員会は運営母体として、地域クラブは実際に動かす実施母体として、２つに分かれて活動していくイメージです。ただし、今後、例えば総合スポーツクラブであったり、スポーツ協会だったり、文化協会だったりが運営母体を作った場合には、教育委員会はあくまでも認可するだけになり、そのような運営母体と実施母体とが協力しながらやっていくことになると思います。この場合、それぞ

議　事　の　経　過

	れの役割分担の問題もあり、各々がどこまで役割を担っていくのかについては、活動しながら決めていくことになるのではないかと考えています。地域展開後、教育委員会が運営母体としてコーディネートできるところは限度がありますので、いずれかのタイミングでそういった組織が立ち上がってコーディネートしていくことになるのではないかと考えています。
教育長	ここまでの内容に対して町長からご意見等お願いいたします。
町長	今後の地域展開においては、指導者の確保など様々な課題があると思いますので、引き続きしっかりと取り組んでほしいと思います。また、それを担う組織の責任の所在や役割分担についても、できる限り明確にしていくことが望ましいと思います。
教育長	ありがとうございました。続いて、こどもみらい課の所管部分についてご意見等お願いいたします。
齋藤委員	保育士不足の解消が本当に課題になっていると実感しています。その中で、例えば他県での、保育士等に対する住宅手当制度や、卒業後にその市町で働くことを条件とした奨学金制度などの政策が目立ってきています。実際に「住宅扶助はありますか」という問い合わせもありますので、そういった需要に合わせて、そのような補助制度もご検討いただけたらというのが意見でございます。
こどもみらい課長	保育士不足は保育園の経営をも圧迫する課題であると認識しています。例えば、宇都宮市のように、給与への上乗せや住宅費補助などに大きな予算をかけているところには対抗できない状況ではありますので、町ではまず、ＩＣＴやソフトの導入・活用による業務の合理化・省力化によって他市町との差別化を図り、離職を防ぐ方策を考えております。 また、住宅費補助についても研究を進めてきており、例えば、「１棟すべて社宅として借り上げることによる所得税上のメリットがある方法」なども考えられますが、まずはソフトによる業務の合理化に取り組んでいきたいと考えています。
教育長	ここまでの内容に対して町長からご意見等お願いいたします。
町長	現場の実態からの切実な課題認識であると感じました。住宅費補助制度には様々な課題があり非常に難しいとは思いますが、検討させていただきます。 また、学童保育の整備につきましては、限られた期間での整備となりますので、滞りなく進めていければと思います。
教育長	ありがとうございました。本日のご意見を踏まえまして、今後の事業に取り組んでまいります。 続きまして、議題（２）小学校統合準備の進捗状況について、事務局から説明を

議　事　の　経　過

	お願いします。
学校教育課長	【説明要旨】 　統合準備の進捗として、保護者説明会の実施結果について、第１回統合準備委員会について、統合準備だより（第１号）等について説明
教育長	事務局からの説明に対し、ご意見等あればお願いします。
佐藤委員	子どもに対するアンケートの質問内容については開示してもらえるのでしょうか。また、結果については教育委員会に報告してもらえるでしょうか。
村上指導主事	子どもに対するアンケートは計３回の実施を予定しており、１回目は現在実施しているところです。２回目は統合前の子ども達の不安の把握、３回目は統合後に統合の検証としてアンケートを実施する予定です。現在実施中の１回目の内容につきましては、子ども達が学校に望むこと・力を入れてほしいこと、どんな学校になると嬉しいか、などを聞くものになっており、栃木県が教育ビジョンを策定する際に、子ども達や保護者に取ったアンケートと同様の内容となっています。統合しない西小学校も含め、町内すべての児童を対象に実施しています。結果についても教育委員会に報告してまいります。
教育長	ここまでの内容に対して町長からご意見等お願いいたします。
町長	保護者説明会においても様々なご意見をいただいた中で、統合準備委員会での協議事項や今後の準備の進め方に反映させて、しっかりと準備を進めていく体制ができたと感じています。限られた時間の中でも、統合して良かったと皆が思えるように、引き続き準備に尽力していただきたいと思います。
教育長	ありがとうございます。それでは、本日の皆様のご意見を踏まえまして今後も統合に向けた具体的な準備作業を進めてまいりたいと思います。 　続きまして、（３）その他として何かございますか。特にないようであれば、以上で議事を終了いたします。
学校教育課長	それでは、以上をもちまして総合教育会議を閉会いたします。 　大変お疲れさまでした。

令和８年　　月　　日

議事録署名人　　教育委員会委員